

講義録レポート

講義録コード

00-6-11-101-01

講 座	簿記検定講座	科目①	ベーシック講義
目標年	2016年6月合格目標	科目②	商会Ⅰ
コース	1級レギュラーコース	回 数	1 回
		合格テキスト	Ver.11.0
用 途	☒ 個別DVD・集合DVD ☒ WEB通信・ ☒ DL通信・ ☒ DVD通信・資料通信		

講師名	石川 貴大 先生	内 訳	板書 枚数	枚	※レポート 含まず
			補助レジュメ 枚数	3 枚	
			その他 ()	枚	

授業構成	前半40分	
実施テスト	有 ・ ☒ 無	
対応テスト	<ミニテスト>	
	<答練・演習>	
使用教材	●合格テキスト	
	●補助レジュメ	
配布教材		
備考	無料体験講義動画用講義録レポートです。	
	～Web受講生各位～ 黒板を写すカメラのスイッチング（切替）は講師が行っている都合上、映像中に一部講師が画面に写らない場合もございますが、故障ではありません。音声及び本講義録をご参照の上ご受講ください。受講生の皆様にはご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。	

TAC簿記検定講座（簿記検定講座）

授業の前に…

I 1級試験の概要

1. 試験日（1級は6月と11月の年2回）

11月の第3日曜日 第141回 平成27年11月15日

6月の第2日曜日 第143回 平成28年6月12日

2. 試験制度

A	B	科目	配点	制限時間	出題形式
20	25	商業簿記	25点	1時間30分	総合問題（または個別問題）
20	25	会計学	25点		個別問題×3,4（理論問題あり）
20	25	工業簿記	25点	1時間30分	総合問題（設問あり）
10	9	原価計算	25点		総合問題（設問あり）
70	84	合計	100点	3時間	

◎ × 合格点 70点以上

（注1）9点以下の科目があると合計70点以上でも不合格になります（いわゆる足切り制度）

（注2）1級は、上位10%前後が合格するように試験実施後に配点が決定されているようです！

3. 合格率

129回	131回	132回	134回	135回	137回	138回	平均
13.0%	12.2%	12.9%	9.7%	10.4%	9.7%	8.8%	11.0%

※ ポイント

実質的には、競争試験ですから、難しい問題の場合には、出来ている部分に配点が多く置かれるため、難しい部分は正解できなくても合格できます

Ⅱ 商業簿記・会計学の学習について

1. 出題形式

科 目	出 題 形 式
商 業 簿 記	総合問題…財務諸表や試算表などを作成する総合問題が中心(2級の第3問) + 個別問題の場合も
会 計 学	個別問題…1つのテーマに着目した小問が中心 (3問 or 4問構成で、最低1問は理論問題!)

(注) 出題の範囲や内容には、商業簿記・会計学の差はほとんどありません。

→ 純粋な理論問題対策以外は、商業簿記と会計学を区別して学習する必要はありません。

2. カリキュラムについて(1年コースまたは10月コース)

	ベーシック			アドバンス	的中答練	公開模試	本 試 験
商会先行	商 12 回	工 12 回	商・工 交互に 各 10 回	商・工 交互に 各 10 回	商・工 交互に 各 5 回	1 回	
工原先行	工 12 回	商 12 回					

※ 1年コースは、最初から週2回のペースで学習。

※ 10ヶ月コースは、1年コースに追いつくために、最初だけ週4回のペースで学習。

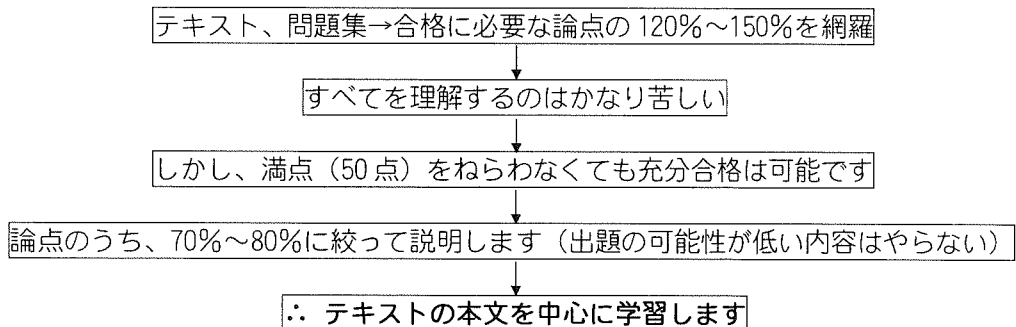
3. 講義方針 → 1回で合格するために必要な論点を中心に学習

商 会 (50 点)	商業簿記… 計 算 (25 点)	
	会 計 学	理 論 (5~10 点)
		計 算 (15~20 点)

【結論】商会(50点)のうち、計算問題(計算に関係する理論を含む)が45点前後、理論問題が5点前後なので、講義は計算対策を中心に行います。

「理論の学習方法について」
次回の授業で説明します。

「授業の進め方について」



(注) テキストには本文以外に、参考・補足・研究があります。

参 考…後のテーマで学習する内容を前倒して記載しています

補 足…おまけの情報を記載しています

研 究…出題の可能性が低い内容を記載しています

研究の項目については、基本講義部分では取り扱いません!

(応用講義や的中答練では取り扱うものもあります。)

4. 学習上を行うにあたっての注意点

(1) 授業を受ける

※ 通学講座のフォロー制度等（受講ガイドP49～）

- ① 自由クラス出席制度…手続きは要りません、受講証だけは忘れないように！
- ② 重複受講制度…同じ授業を教室で2回まで受けられます
- ③ Webフォロー・DLフォロー…自宅の復習用や欠席時のフォローに
- ④ 有料DVD（ビデオ）フォロー（1回500円）

(2) 復習中心の学習（テキスト、レジュメの確認とトレーニング）

- ① 復習を頑張りましょう！レジュメ→テキスト→トレーニング
- ② 次回の学習範囲に関係する3・2級の論点を復習しましょう！論点は指示をします。
- ③ できれば予習（テキストを軽く読む程度）をしてください。

（注）トレーニングには重要度のランクがついています。

★★★→重要度A } …繰り返し解いて完璧にしましょう。

★★☆→重要度B }

★☆☆→重要度C …特別に案内がない限り、やらなくていいです。

指示があったものについては最低でも一回は解いてください。

(3) ベーシック講義では、授業の最初にミニテスト（2回目の講義から実施）があります。必ず受けて、満点を目指しましょう！

（注）ミニテストは、自己採点になります。

教室講座の場合は、回収させていただいて、成績管理をさせていただき、次の授業の時に返却させていただきます。欠席などの理由により返却できなかった答案は、各校舎の受付前の返却ボックスに入れておきますので、各自回収してください。

(4) 定期的に基礎演習（答練）を実施しますから、必ず受けましょう！！

解説で、テクニックや下書用紙の作り方を紹介しますので、必ず受けてください！

→ 基礎演習は「受ける」ことに意味があります！

(5) 受講相談や質問を積極的に行い、不得意な科目や分野は作らないようにしましょう！

（注）質問電話 03-5276-8916

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×	×
18:00～20:00	○	×	○	×	○	×	×

※ 祝日・年末年始・GW・お盆には、お休みをいただいております。

※ 試験直前には、土日にも質問電話を増設する予定です。

(6) 3、2級とは違い、難しい試験だということを自覚しましょう！

（3級を10、2級を25だとすると1級は100以上だと思ってください）

(7) 合格のための勉強だと割り切ることも、ときには必要です。

（注）1級の範囲は膨大ですから、あまり細かいところにこだわりすぎないようにするなど、合格に直結する無駄を省いた学習をしていくということです。

5. 補助教材（講義では使用しませんが、出来るだけ各自でご用意ください）

- (1) 「合格するための過去問題集」…回数別、商工まとめた過去問題集
- (2) 「究極の会計学理論集」…会計学の理論専用の過去問題集